

2012（平成 24）年度沖縄国際大学 FD 支援プログラム指定プロジェクト

「成績評価の再検討」

プロジェクト設定の趣旨

「学士課程教育の質向上」を求められている昨今、個別科目における成績評価の公正化・厳格化が求められている。中教審の「学士課程答申」においても、「GPA等の客観的な基準を学内で共有し、教育の質の保証に向けて厳格に適用する」ことが、「大学に期待される取組」として明記されている。加えて、近年の動向では、「成績評価基準の明確化」が求められ、学校教育法施行規則の一部改正によって義務づけられた「教育情報の公開」の中には、「学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること」が含まれており、成績評価基準についての説明が問われる方向となっている。

他方で、本学の成績評価は「優・良・可・不可」の4区分のみである。これまでも「秀」評価の導入、実得点での成績評価等の意見が関係会議で出されてきたところである。さらに、指定プロジェクトでは、授業評価アンケート、シラバスの見直しを検討してきており、これらとの関連性や整合性を見地からも、成績評価制度の再検討は必要だと考える。

以上のことから、ルーブリックを含めた成績評価基準の在り方、成績評価方法そのもの、GPA制度等の成績結果の活用について検討することを提案する。

プロジェクトの成果について

2011年度FD支援プログラム指定プロジェクトで行った「シラバスの実質化」と連動した内容になったため、現行シラバスおよび成績評価の変更・実施に向けて検討するべく2013年度FD支援プログラム指定プロジェクトとすることとした。